

FRONTEO、ライフサイエンス AI 事業を拡充

デジタル医療機器・ソフトウェアの「Medical Device 領域」と 創薬・医療情報活用・規制対応支援の「Medical Intelligence 領域」の 2つの戦略領域で事業を拡大

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO）は、ライフサイエンスAI事業を拡充し、「Medical Device領域」「Medical Intelligence領域」の2つを重点戦略領域として事業展開していくことを発表します。

「Medical Device領域」では、現在治験を行っている「会話型 認知症診断支援AIシステム」を始め、転倒転落予測システム「Coroban」や「骨折スクリーニングAIプログラム」など医療機関向けのAI医療機器・ソフトウェアの開発を展開します。FRONTEOは本年1月に東京都より第一種医療機器製造販売業の許可を取得し（許可番号：13B1X10350）、AI医療機器の技術開発・製品開発・臨床開発・製造・販売までのプロセスを単独で行える体制を構築しました。今後は、現在進行しているAI医療機器の開発・販売のみならず、新製品の研究・開発も積極的に進め、パイプラインの拡充を図ってまいります。

「Medical Intelligence領域」では、企業やアカデミアにおける医療・創薬領域でのAI活用ニーズの高まりを受け、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を多角的に支援する製品を展開します。2020年から販売している論文探索AI「Amanogawa（商標出願中）」、ターゲット探索支援AI「Cascade Eye（商標出願中）」に加え、製薬業界のさまざまな規制・業界ルールへの対応を支援する「Guideline Viewer（商標出願中）」、電子カルテなどの膨大かつ専門性の高い医療情報から診断・診療支援等を行うソリューションを提供することで、文献情報や医療情報など高い専門性が求められる情報の処理・解析へのニーズに適切かつ迅速に対応し、事業を更に拡大させます。

Medical Device領域	Medical Intelligence領域
<div style="background-color: #34495e; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">医療機器分野</div> <p style="text-align: center;">医療機器クラスⅡまたはⅢに該当するプログラムを提供 ※保険収載を想定</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>【開発中の製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 会話型 認知症診断支援 AIシステム ■ 骨折スクリーニング AIプログラム </div>  </div>	<div style="background-color: #34495e; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">創薬支援分野</div> <p style="text-align: center;">AIによる創薬・開発・販売推進 【販売中の製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 論文探索AI「Amanogawa」 ■ 創薬支援AI「Cascade Eye」 
<div style="background-color: #34495e; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">医療ソフトウェア分野</div> <p style="text-align: center;">民生品としてのプログラムを提供</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>【販売中の製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 転倒転落予測AIシステム </div>  </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #27ae60; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; font-weight: bold; margin-right: 5px;">NEW</div> <div style="background-color: #34495e; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">医療情報分野</div> </div> <p style="text-align: center;">電子カルテなどの医療ビッグデータを活用した新たなソリューションの提供</p> 
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #27ae60; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; font-weight: bold; margin-right: 5px;">NEW</div> <div style="background-color: #34495e; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">規制対応支援分野</div> </div> <p style="text-align: center;">医療用医薬品販売情報提供活動ガイドライン対応、業務効率化支援</p> 

FRONTEOは、今後もAI医療機器・ソフトウェアや業務支援システム等の開発・提供を通じて、ヘルスケア領域における「情報社会のフェアネス」を実現してまいります。

■FRONTEOについて URL: <https://www.fronteo.com/>

FRONTEOは、自然言語処理に特化した自社開発AIエンジン「KIBIT」と「conceptencoder」を用いて膨大な量のテキストデータの中から意味のある重要な情報を抽出し、企業のビジネスを支援する、データ解析企業です。2003年8月の創業以来、企業の国際訴訟を支援する「eディスカバリ（電子証拠開示）」や、「デジタルフォレンジック調査」というリーガルテック事業をメインに、日本、米国、韓国、台湾とグローバルに事業を展開してきました。リーガルテック事業で培ったAI技術をもとに、2014年よりライフサイエンス分野、ビジネスインテリジェンス分野、OSINTへと事業のフィールドを拡大し、AIを用いて「テキストデータを知見に変える」ことで、創薬支援、認知症診断支援、金融・人事・営業支援など、様々な企業の課題解決に貢献しています。2007年6月26日東証マザーズ上場。2021年1月13日第一種医療機器製造販売業許可（許可番号：13B1X10350）を取得。資本金2,568,651千円（2020年3月31日現在）。

※FRONTEO、Coroban、KIBIT、conceptencoderはFRONTEOの日本における登録商標です。

< 報道関係者のお問合せ先 >

株式会社 FRONTEO 広報担当 瀬川
FAX: 03-5463-6345 Email: pr_contact@fronteo.com

< ライフサイエンス AI 事業に関するお問合せ先 >

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部
<https://lifescience.fronteo.com/contact>